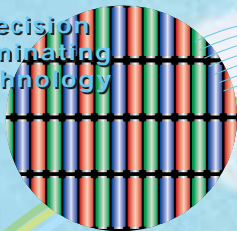
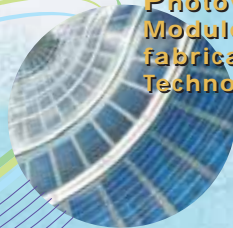


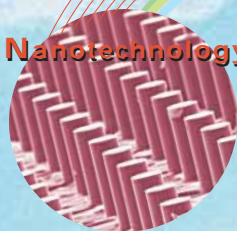
Precision
Laminating
Technology



Photovoltaic
Module
fabrication
Technology



Nanotechnology



第25期年次報告書

PRE
プレ

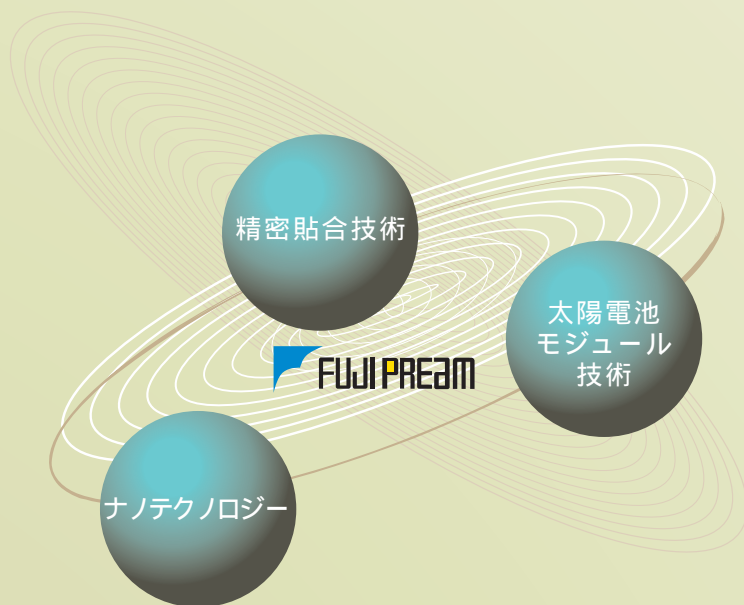
フジプレミアムと社会を結ぶ情報誌

vol.10
2007/6

FUJI PREMIUM

フジプレアムは、 3つのコア技術で 時代を拓きます。

フジプレアムは、研究開発型企業として3つのコア技術を基本に、時代と顧客のニーズに的確に応え、人々の豊かな暮らしに貢献することを目指しています。日々急速な進歩を遂げるディスプレイデバイスの世界、持続可能な社会づくりに寄与するためのエコエネルギー市場、これからの未来を支えるナノテクノロジー市場において、さらなる技術の向上と、新たな技術の取得に努めています。



最先端テクノロジーで、
ディスプレイデバイス業界
を牽引

PDP用光学フィルター、ダイレクトフィルター、液晶
偏光板フィルムの製造・販売

独自の技術で、
環境保護とエコエネルギー
の普及に貢献

採光型太陽電池モジュール、太陽光発電関連商
品の製造・販売



時代の基幹技術
「ナノテクノロジー」を、
産学官で共同研究

放射光による超微細加工技術の研究

株主、投資家の皆様へ。

株主の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、当社グループの事業につきまして格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第25期(平成19年3月期)事業のご報告をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。当社グループの主力事業であるFPD(フラットパネルディスプレイ)部門では、厳しい価格競争の中で大幅な機種変更が幾度も行われ、またその他様々な要請が多くあり、その対応の結果、当連結会計年度の業績は、当初の計画に到らずご期待に沿えることができませんでした。しかしながら、この度の経験により、今期、来期への冷静な判断材料を得ることができましたので、今後の成長に向けて明るくスタートを切ることができると考えております。その中において、当社のもづくりの基本は「高品質・高歩留」にあり、これはコストダウンを補うもののひとつであると考え、技術及び生産体制の改善及び合理化の推進等、今後の需要拡大に向けた投資を積極的に行いました。また、クリーン・エコエネルギー部門につきましては、ヨーロッパ及びアジア市場をはじめとする世界的な太陽光発電の普及を受け、これまでも積極的な設備投資、研究開発を積み重ねておりましたが、本年2月には新たにPV(太陽電池)工場第1期モジュール製造ラインが立ち上がり、稼働を始めており、より競争力のある製品の開発を図ります。メカテクノロジー・その他部門では、産業用機械・包装機械の製造におきましては、社内生産設備の改善や構築に注力し、各部門の生産性向上の実現に重要な役割を果たしました。なお、物流業務を円滑に遂行できるよう取組み、イマクル 株 を連結対象とし、当社グループ全体の諸資材の一括購入・販売を担うフジプレアム商事(株)の立ち上げを行いました。

今期(平成20年3月期)の当社グループを取り巻く状況は、まずFPD市場がこれまでの急成長期から安定成長期に入ってきたことで、市場規模の拡大、関連商品メーカーの淘汰、再編が進む等、業界構造の変遷による新たなニッチビジネスの発生に、これまで以上の柔軟な対応が必要となってまいります。平成3年の光学製品との出会いにより培ってきた光学機能性フィルムのカット、貼合、検査等の特殊な工程ノウハウを武器に、新たなフィルムビジネスへの展開を推し進めて参ります。

クリーン・エコエネルギー関連事業におきましては、積極的な投資を続けており、今後も、太陽電池市場の拡大に追随するため、生産・技術・販売の各方面において注力し、新たな事業基盤の構築を目指します。また、現在フィールドテストによる再開発を急ピッチで進めているHSP、及びP-HSP、シリコン不足問題に希望の光を差すCBセル&モジュールの早期上市により、多くの期待に答えて参りたいと思います。

また、業務の適正を確保するため、コーポレート・ガバナンス及びコンプライアンス体制の強化を継続して取り組んで参ります。

株主、投資家の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

松本實藏



特集:

フジプレアムで働く人々

精密貼合技術を核としてものづくりに専念し、発展を遂げてきたフジプレアム。現在、主力とするFPD(フラットパネルディスプレイ)関連製品、太陽光発電システムは世界的な規模で需要拡大が見込まれています。特集ではフジプレアムで働く人々を通じて、事業をご紹介します。今回は、光都工場と本社をご紹介します。



せいみつてんごう
当社はコア技術である精密貼合技術を独自の付加価値として業容の拡大に取り組んでいます。平成3年に液晶偏光板フィルムの加工を足がかりに光学関連事業に参入し、平成13年、PDP(プラズマディスプレイパネル)用光学フィルターの製造・販売をスタート。現在FPD業界で着実に市場開拓を続けています。

また世界的なエネルギー問題・環境ソリューションが重要視される中、平成12年に太陽光関連事業の取組みをスタート、事業領域の拡大を推し進め、太陽電池の応用や放射光を利用した超微細加工等、様々な方面へと拡大して参ります。

精密貼合技術=当社グループ独自の表現で、様々な機能を持つ光学機能性フィルム等の貼り合わせを行い、マイクロレベルの貼合精度、製造工程における高歩留まり、貼り合わせの高速化を図るための技術

**国内外で高いシェアを占める
PDP用光学フィルターを製造し
ています。**

【 ファインテック事業部 】

需要拡大が続く薄型テレビ。その中でもプラズマテレビは、ブラウン管のようなちらつきがなく、鮮明な画像が得られるため、スポーツ等も美しい画像で見ることができます。大画面化しやすいという構造上の特徴もあります。当社の技術は、電磁波や近赤外線をカットし、画像を美しく安全に見せるために不可欠な光学フィルター貼合に活かされています。大型化するほどに難しくなる貼合技術でいち早く事業化に成功しました。超大型画面の品質も、独自開発した検査方法によって高いレベルを維持し、国内外で高いシェアを占めています。



ファインテック事業部の難波良輔さん

平成18年度に入社しました。現在、ガラスと機能性フィルムを貼り合わせたPDP用光学フィルターの出荷工程を担当しています。いつも決められた仕事をするのではなく、自分で作業の段取りを計画して、仕事ができるところにやりがいを感じます。特に、この工程は責任が大きいですので、常に緊張感を持って取り組んでいます。業務以外ですが、食堂のメニューが豊富などころが気に入っています。



**少量・多品種、低コスト生産を実現。
太陽光発電システムの普及拡大に貢献しています。**

【ソーラークリエイト事業部】

21世紀最大の課題、地球環境問題。新エネルギーが注目を集めています。当社では、新エネルギーの中でも、最も期待の大きい太陽光発電システム分野で、画期的な製造技術を誇る太陽電池「集光型球状シリコン太陽電池CBセル」の事業化に取り組んでいます。また、建材一体型で外光を取り入れられる「採光型太陽電池モジュール」等、モジュール製造技術でも独自性、先進性を発揮しています。

今年1月に完成したPV工場



PV=Photovoltaic 太陽光発電



ソーラークリエイト事業部の福谷和博さん

平成12年度に入社しました。太陽電池モジュールの製造を担当しています。私たちが作った太陽電池モジュールが世界中の屋根に上がることを信じて、仕事に取り組んでいます。他社にできない大型の太陽電池モジュールを作れることは、フジプレミアムの強みだと思います。



ソーラークリエイト事業部
PV工場生産ライン写真

特集：

フジプレミアムで働く人々



総務部・光都工場の松田知佳さん

平成17年度に入社しました。接客・電話対応、総務、経理等の事務全般を担当しています。また、上海からの研修生の生活面のアドバイスも含めた、お世話もしています。光都工場の総務は少人数のため、さまざまな分野の業務が幅広くあります。その1つ1つをより深く身につけていきたいと思い取り組んでいます。お客様や社員が気持ちよく過ごしたり、働けるよう細かいところまで気を配り、話を聞いたり声を掛け合うことで、人とのつながりや信頼関係を大切にしたいと考えています。フジプレアムの掲げている「不可能への挑戦」、この言葉が好きです。



本社受付



総務部の橋本幸恵さん

[本 社]

平成15年度に入社しました。総務部で、接客・電話対応や、本社管轄の請求業務や、社宅・社有車の管理等を担当しています。日常の庶務的な仕事をはじめ、人の役に立てた時にやりがいを感じる事ができ、また頑張ろうという気持ちになります。接客・対応の時等は、相手をお待たせする時間を短くするように心がけています。事業部毎に担当する仕事内容はそれぞれ異なりますが、フジプレアムを盛り立てていくため、社員が一丸となって頑張っているところが、フジプレアムの誇れるところだと思います。



本社ビル



本社展示室

TOPICS: トピックス

TOPICS: 1

平成19年度の新入社員34名を迎えました。



平成19年度の入社식을3月28日に行いました。平成19年度の新入社員は34名。松本社長は訓示の中で、社内に掲げた『誠意』という額に込めた思いについて、「人の徳は1日であるものではありません。積み上げてなるものです。心得のないものは大きくはなれません。単純明快に捉える素直な心こそが人の成長を促すのです。そのためには『誠意』を持ってやり遂げることが大切だ、という一念で私自身が書き下ろしました。額の文字を見るたびに、私が込めた気持ちを、是非思い出して下さい」と語りました。34名のニューフェイスは緊張した面持ちで、熱心に耳を傾けていました。



TOPICS: 2

まちびらき10周年記念セミナーに参加しました。



4月29日、兵庫県立先端化学技術支援センター大ホールで開催された「まちびらき10周年記念セミナー」に参加しました。播磨テクノポリス光都工場/研究所のある「光都」というまちが開かれて10周年。その記念セミナーに招待され、ファインテック事業部の松本事業部長がパネルディスカッションに参加しました。工場進出の目的や今後の課題等をお話させていただきました。また、4月29日から5月6日まで、同センター内の展示ルームに光都に関わる当社の製品等を展示しました。



TOPICS: 3

当社研究用農業ハウスにてマンゴー栽培に成功。

当社では、天井に当社特有の可動式太陽電池パネルを設置した農業ハウスにおいてフルーツマトや高級イチゴの栽培を研究しております。並行して新たにアップルマンゴーの栽培にも着手しておりました。そしてこのほど、兵庫県では初めてのポット植えによるマンゴーの栽培に成功しました。本来地植えが常識といわれているマンゴーをポット植えにすることで、通常植えつけ後3～5年かかっていた収穫をわずか1年で実現するものです。また、根域を地中から離すことで水分、養分と、特に地温のコントロールが容易となり、南国に限らず兵庫県あるいはそれ以北の地域での栽培も可能にする画期的な手法です。



待ちに待った夏休み、のんびり出来る絶好のチャンスです。皆さんは夏休みの予定はもうお決まりですか？播磨周辺でもイベントやアトラクションが盛りだくさんです。今回はその中から、おすすめのレジャースポットをご紹介します。長期バカンスが叶わなかった人も、ほんの少し足を伸ばせば、素敵な自然と触れ合えます。

播磨探訪：VOL.8 フジブレイムが遊ぶ

「夏のレジャー」を楽しむ

海水と淡水が交じり合った汽水の人工湖のある珍しい公園。復元塩田で塩づくり体験も

兵庫県立赤穂海浜公園



赤穂は家島群島や小豆島を望む瀬戸内海に面し、古くから塩づくりが盛んな地域。広大な塩田跡地につくられた公園内には、汽水の人工湖がある他、遊園地(赤穂わくわくランド)やテニスコート、オートキャンプ場等が整備されています。塩田を復元した施設もあり、実際に塩づくりの体験ができ、広く親しまれています。

【所在地】兵庫県赤穂市御崎1857-5
【アクセス】山陽自動車道・赤穂ICから南東へ約6km。JR播州赤穂駅からウエスト神姫バス御崎行、又は保養センター利用「明神木」バス停下車、南へ約15分。土・日・祝日は、「海浜公園前」バス停下車すぐ
【問い合わせ先】0791-45-0800(赤穂海浜公園管理事務所)

じゃぶじゃぶ池で水遊び!

神崎農村公園ヨーデルの森

美しい清流に恵まれたヨーデルの森には、水辺の空間がたくさんあります。パンやバター、ピザ、アイスクリーム等の手作り体験や、リース作り、トールペイント等のクラフト体験教室は人気です。ゴーカート、芝すべり、おもしろ自転車等の遊具施設も充実。自然いっぱいの森の中、ご家族連れでのんびり楽しめます。

【所在地】兵庫県神崎郡神河町猪篠1868番地
【営業時間】10時～17時
【アクセス】(姫路方面から)播但連絡道路「神崎北IC」より北へ約2km。(和田山方面から)播但連絡道路「生野北第1IC」より南へ約6km
【問い合わせ先】0790-32-2911



国内最大の「なゆた望遠鏡」で宇宙を身近に感じる瞬間

兵庫県立西はりま天文台公園

天体を中心に、自然と触れ合える参加体験型の生涯学習施設です。天文台施設には口径2mを誇る日本国内最大の望遠鏡「なゆた望遠鏡」(天文台南館)があります。隕石をさわられる展示ブースもあり、宇宙を身近に感じることができます。夏休みは期間限定(7/20～8/31)で60cm望遠鏡を使って「屋間の星観望会」を実施します。1日2回開催(①13:30～、②15:30～)。

【所在地】兵庫県佐用郡佐用町西河内407-2
【営業時間】天文台北館9時～17時、天文台南館9時～18時
【アクセス】中国自動車道・佐用インターから約10分
【問い合わせ先】0790-82-0598(管理棟)



瀬戸内海の海上イクスで釣り放題 家島漁協海上釣堀センター



このスポットにも注目!

釣った魚はすべて持ち帰りOK。釣った養殖真鯛は、他の天然魚と交換することもできます。もし釣れなくても、養殖真鯛のお土産つきで安心です。天然魚の直売コーナーもあり、今夜は新鮮な魚づくしの夕食に舌鼓!釣って楽しい、食べて美味しい、注目のスポットです。瀬戸内の大自然の海上イクスで、大物にチャレンジしてみは?

【所在地】兵庫県姫路市家島町宮110-1
【営業時間】出港時間(妻鹿港)夏季6月1日～8月31日までは6時出船、9月1日～5月31日は7時出船【アクセス】姫路バイパス東ICを南西へ約15分→妻鹿港(直通便)で約30分→家島本島へ
【問い合わせ先】079-325-8700

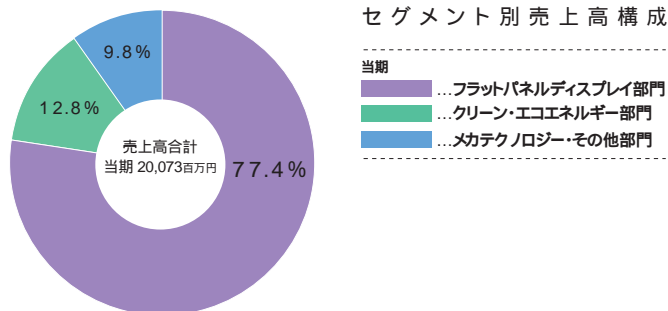
事業の状況

当連結会計年度におけるわが国経済は、原油価格の高止まりによる原材料の価格上昇等が懸念されたものの、企業業績は順調に改善し、設備投資が積極的に行われ、景気は総じて堅調に推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループの関連業界であるFPD市場が急速に拡大したことに伴い、技術及び生産体制の改善及び合理化の推進等、今後の需要拡大に向けた投資を積極的に行いました。しかしながら、当社グループの生産は、液晶とプラズマによる薄型テレビのシェア争いの影響を受け、厳しい経営環境となりました。なお、今後のFPD市場の動向を考慮し、たな卸資産の特別損失を計上いたしました。

クリーン・エコエネルギー関連事業につきましては、ヨーロッパ及びアジア市場をはじめとする世界的な太陽光発電の普及を受け、競争力の強化に努めました。

セグメント別売上高構成



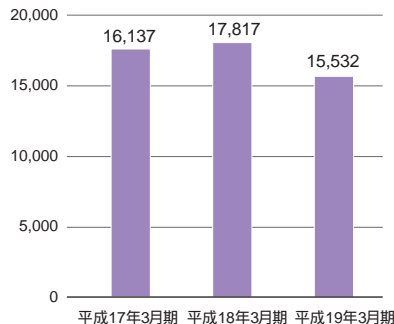
フラットパネルディスプレイ部門

PDP用光学フィルター及びダイレクトフィルターの製造におきましては、前連結会計年度よりFPD市場の拡大に伴う増産体制に取組みましたが、液晶とプラズマによる薄型テレビのシェア争い及び価格競争の激化により、当初の計画を下回りました。また、当部門では、新しい生産ラインの研究開発、生産効率の向上及び製造コスト削減へ積極的に取組みました。

ダイレクトフィルター=電磁波防止、反射防止、色調補正、近赤外線防止等の機能を有するフィルムを、ガラス基板を使用せずに貼り合せたPDP用光学フィルターです。このフィルターは、パネルメーカーにおいてPDPモジュール本体に直に貼って使用されます。

フラットパネルディスプレイ部門売上高

(単位：百万円)

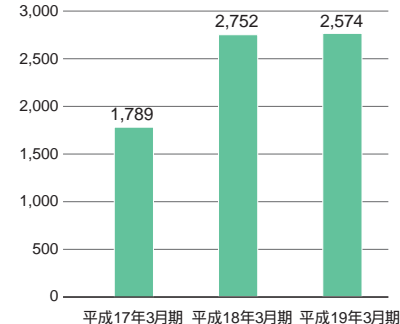


クリーン・エコエネルギー部門

太陽電池モジュールの製造におきましては、ヨーロッパ及びアジア市場をはじめとする世界的な需要の拡大に伴い、受注販売が堅調に推移しており、今後、より競争力のある製品の開発を図るため、播磨テクノポリス光都工場 / 研究所敷地内に新たにPV工場を建設しました。しかしながら、建材一体型モジュールの販売が伸びず、業績に影響しました。

クリーン・エコエネルギー部門売上高

(単位：百万円)

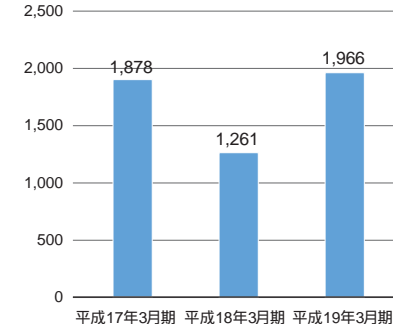


メカテクノロジー・その他部門

産業用機械・包装機械の製造におきましては、社内生産設備の改善や構築に注力し、各部門の生産性向上の実現に重要な役割を果たしました。なお、物流業務を円滑に遂行できるよう取組み、イマクル(株)を連結対象とし、当社グループ全体の諸資材の一括購入・販売を担うフジプレミアム商事(株)の立上げを行いました。

メカテクノロジー・その他部門売上高

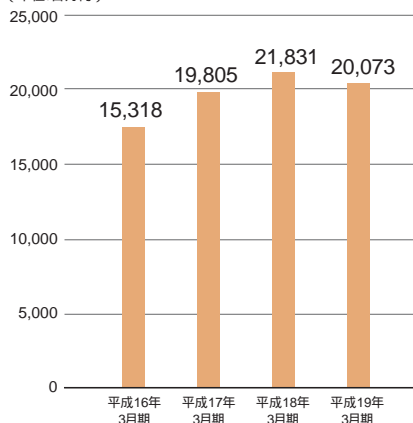
(単位：百万円)



業績・財務ハイライト

売上高

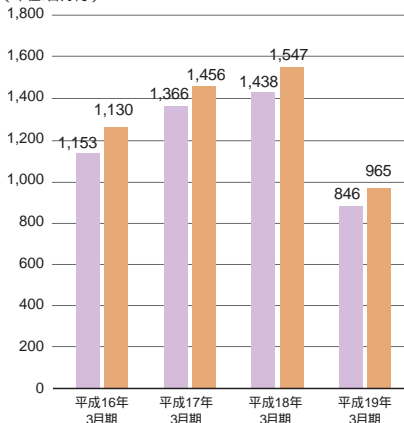
(単位:百万円)



営業利益・経常利益

営業利益 経常利益

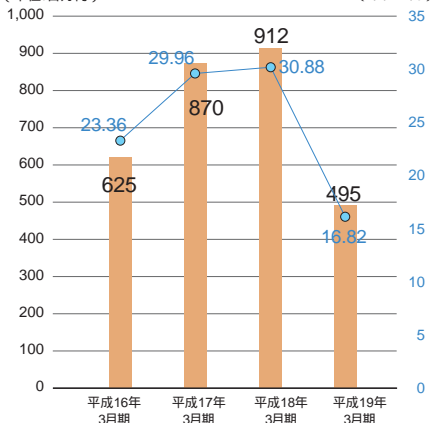
(単位:百万円)



当期純利益・一株当たり当期純利益

当期純利益 一株当たり当期純利益

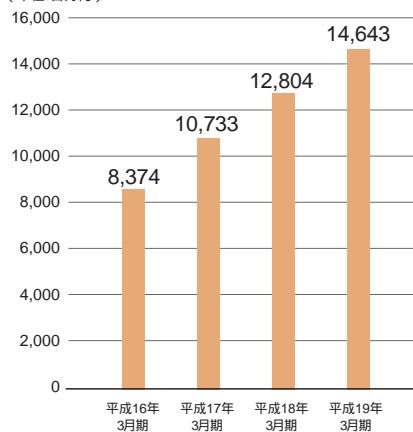
(単位:百万円)



当社は平成17年12月26日付で、株式1株につき3株の分割を行っております。そのため、平成16年3月期及び平成17年3月期の1株当たりの当期純利益につきましては、適及修正を行なった場合の数値を参考に記載しております。

総資産

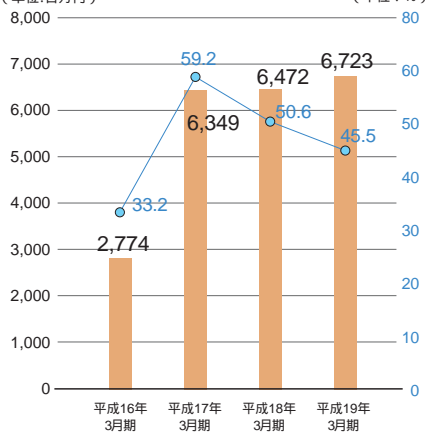
(単位:百万円)



純資産・自己資本比率

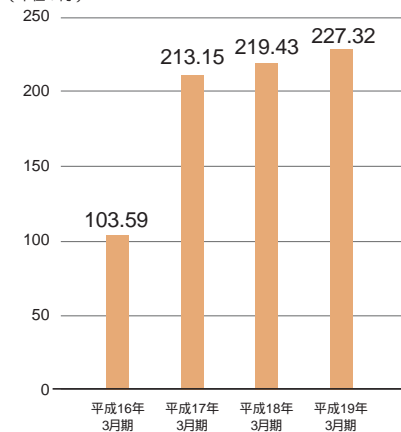
純資産 自己資本比率

(単位:百万円)



一株当たり純資産

(単位:円)



当社は平成17年12月26日付で、株式1株につき3株の分割を行っております。そのため、平成16年3月期及び平成17年3月期の1株当たりの純資産につきましては、適及修正を行なった場合の数値を参考に記載しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	7,433,857	7,219,846
現金及び預金	3,027,145	3,677,486
受取手形及び売掛金	2,703,153	2,665,896
たな卸資産	1,126,015	650,704
その他	577,542	225,758
固定資産	7,208,507	5,571,263
有形固定資産	6,640,666	5,191,849
無形固定資産	5,632	4,243
投資その他の資産	562,209	375,170
繰延資産	999	13,725
資産合計	14,643,364	12,804,835

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	5,061,052	2,999,337
支払手形及び買掛金	2,714,643	2,324,798
短期借入金	1,695,800	100,000
1年以内返済予定長期借入金	375,000	-
未払法人税等	49,390	333,377
賞与引当金	30,834	21,838
その他	195,383	219,321
固定負債	2,859,192	3,292,188
長期借入金	2,629,680	3,000,000
退職給付引当金	675	3,558
その他	228,836	288,630
負債合計	7,920,244	6,291,525
(少数株主持分)		
少数株主持分	-	40,406
(資本の部)		
資本金	-	2,000,007
資本剰余金	-	2,440,803
利益剰余金	-	2,404,965
その他有価証券評価差額金	-	2,527
為替換算調整勘定	-	29,354
自己株式	-	399,700
資本合計	-	6,472,904
負債、少数株主持分及び資本合計	-	12,804,835
(純資産の部)		
株主資本	6,614,567	-
資本金	2,000,007	-
資本剰余金	2,440,803	-
利益剰余金	2,691,507	-
自己株式	517,751	-
評価・換算差額等	51,988	-
少数株主持分	56,563	-
純資産合計	6,723,119	-
負債純資産合計	14,643,364	-

連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当連結会計年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	20,073,523	21,831,774
売上原価	17,929,660	19,333,828
販売費及び一般管理費	1,297,632	1,059,661
営業利益	846,230	1,438,285
営業外収益	170,048	148,546
営業外費用	50,791	39,399
経常利益	965,486	1,547,432
特別利益	1,789	20,468
特別損失	131,373	-
税金等調整前当期純利益	835,902	1,567,900
法人税、住民税及び事業税	301,273	638,581
法人税等調整額	22,999	3,968
少数株主利益	16,157	20,333
当期純利益	495,471	912,955

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当連結会計年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	166,302	1,105,003
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,946,735	1,878,380
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,101,970	651,183
現金及び現金同等物に係る為替差額	8,500	5,377
現金及び現金同等物の減少額	669,962	116,815
現金及び現金同等物の期首残高	3,618,486	3,689,512
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	28,621	45,790
現金及び現金同等物の期末残高	2,977,145	3,618,486

連結株主資本等変動計算書 当連結会計年度(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	2,000,007	2,440,803	2,404,965	399,700	6,446,076	2,527	29,354	26,827	40,406	6,513,310
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当	-	-	176,988	-	176,988	-	-	-	-	176,988
当期純利益	-	-	495,471	-	495,471	-	-	-	-	495,471
自己株式の取得	-	-	-	118,051	118,051	-	-	-	-	118,051
連結子会社増加による減少高	-	-	31,941	-	31,941	-	-	-	-	31,941
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	3,429	21,732	25,161	16,157	41,319
連結会計年度中の変動額合計	-	-	286,541	118,051	168,490	3,429	21,732	25,161	16,157	209,809
平成19年3月31日残高	2,000,007	2,440,803	2,691,507	517,751	6,614,567	901	51,086	51,988	56,563	6,723,119

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	当事業年度 (平成19年3月31日現在)	前事業年度 (平成18年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	5,001,178	5,291,408
当座資産	3,526,028	4,539,030
たな卸資産	809,472	536,274
その他	665,677	216,104
固定資産	7,208,420	5,530,038
有形固定資産	6,338,848	4,858,353
無形固定資産	4,736	3,744
投資その他の資産	864,835	667,940
繰延資産	999	13,725
資産合計	12,210,598	10,835,172

(単位：千円)

科目	当事業年度 (平成19年3月31日現在)	前事業年度 (平成18年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	3,248,138	1,490,450
支払手形及び買掛金	1,377,445	1,157,239
短期借入金	1,400,000	-
その他	470,693	333,211
固定負債	2,625,000	3,003,558
長期借入金	2,625,000	3,000,000
退職給付引当金	-	3,558
負債合計	5,873,138	4,494,008
(資本の部)		
資本金	-	2,000,007
資本剰余金	-	2,440,803
利益剰余金	-	2,302,580
その他有価証券評価差額金	-	2,527
自己株式	-	399,700
資本合計	-	6,341,163
負債・資本合計	-	10,835,172
(純資産の部)		
株主資本	6,336,557	-
資本金	2,000,007	-
資本剰余金	2,440,803	-
利益剰余金	2,413,497	-
自己株式	517,751	-
評価・換算差額等	901	-
純資産合計	6,337,459	-
負債純資産合計	12,210,598	-

損益計算書

(単位：千円)

科目	当事業年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	前事業年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	14,136,175	18,123,568
売上原価	12,801,941	16,198,980
販売費及び一般管理費	926,765	839,112
営業利益	407,468	1,085,475
営業外収益	265,249	94,056
営業外費用	42,536	33,376
経常利益	630,180	1,146,154
特別利益	1,789	20,468
特別損失	131,373	-
税引前当期純利益	500,596	1,166,623
法人税、住民税及び事業税	204,523	495,779
法人税等調整額	8,166	1,838
当期純利益	287,905	669,005
前期繰越利益	-	933,574
当期末処分利益	-	1,602,580

会社情報

会社概要（平成19年3月31日現在）

商号	フジプレアム株式会社 Fujipream Corporation(英)
本社所在地	兵庫県姫路市飾西38番地1
設立	昭和57年4月14日
代表者	代表取締役社長 松本實藏
資本金	2,000百万円
事業内容	PDP用光学フィルター関連事業 光学製品関連事業 太陽光発電関連事業 生産技術システム関連事業 他
従業員数	483名(連結・臨時雇用含む)
営業所及び工場	本社 姫路工場 播磨テクノポリス光都工場 / 研究所 東京オフィス
連結対象となる子会社	フジサンエナジー株式会社(設立 平成13年4月) 上海不二光学科技有限公司(設立 平成15年9月) フジプレアム商事株式会社(設立 平成18年6月) イマクル株式会社(設立 平成15年10月)
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行

取締役及び監査役（平成19年6月28日現在）

代表取締役社長	松本 實藏
代表取締役副社長	松本 守雄
取締役副社長	田頭 未徳
専務取締役	原 一雄
常務取締役	牛尾 哲之
取締役	松本 春代
取締役	大川 拓志
取締役	池田 尊士
取締役	松本 倫長(新任)
取締役	澁谷 尚(新任)
取締役	山本 良徳(新任)
取締役	石見 健三
取締役	藤田 和也
取締役	片岡 智彦(新任、社外)
常勤監査役	松本 毅
監査役	杉山 正幸(社外)
監査役	福田 雄二(新任、社外)

株式情報

株式の分布状況（平成19年3月31日現在）

会社が発行する株式の総数	105,000,000株
発行済株式の総数	29,786,400株
株主数	5,198名

大株主の状況（平成19年3月31日現在）

松本實藏	15,130,700株
松本庄藏	1,854,000株
東レ株式会社	1,560,000株
旭硝子株式会社	936,000株
リンテック株式会社	936,000株
ジェイアンドエム株式会社	475,500株
フジプレアム株式会社	459,400株
松本倫長	406,800株
松本春代	360,000株
松本守雄	330,000株

株式分布状況（平成19年3月31日現在）

